

令和2年 第1回 雫石町総合教育会議 会議録

1 日 時 令和2年5月20日（水）午前9時30分から午前10時30分

2 場 所 雫石町役場 3階 大会議室 西側

3 出席者

町 長 猿 子 恵 久

副町長 若 林 武 文

教育長 作 山 雅 宏

教育長職務代理者 岩 持 斗季子

教育委員 吉 田 博 輝

教育委員 千 葉 昇

4 説明のために出席した職員

教育次長 高 橋 賢 秀

生涯学習スポーツ課長 徳 田 秀 一

学校教育課 指導主事 高 柳 利 幸

課長補佐 矢 幅 泰 子

政策推進課長 古川端 琴 也

主 査 吉 田 耕 大

5 傍 聴 者 な し

6 挨 拶

猿子町長：教育委員の皆様方には、コロナウイルス感染症のためにご心労、ご苦勞をおかけしております。長引くものと捉えております。

教育委員の皆様方には子ども達の学習を一番に位置づけながら今後も教育、生活に変化が出てこようかと思っておりますがよろしく願い申し上げます。

本日の議題3点のご審議につきましてご忌憚のないご意見を頂戴したいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

作山教育長：お忙しいところ、町長、副町長、ご対応いただきまして大変ありがとうございます。2月27日の突然の休業要請から3ヶ月ということですが、岩手県、雫石町はほぼ通常通りの学校行事が工夫しながら行われていることは本当にありがたいこととっております。コロナのリスクと学校の教育課程の進行と出口のない中で不安に寄り添いながらも冷静に判断しながら進めていくことがより必要なのではないかとっております。今後一層、首長部局、町長、副町長をはじめ教育委員の皆様のご協力をいただければとっておりますのでよろしくお願いいたします。

7 議 題

- (1) 事務事業の進捗状況について
- (2) 今年度の各種学校対応について

【(1)、(2)を一括して説明】

千葉委員：県中総体が中止となりましたが、交流試合については盛岡教育事務所管内ということで葛巻町や岩手町は含んでいないのか確認したい。

教育長：盛岡市、滝沢市、八幡平市、岩手町あたりについてはできるとなっております。

吉田委員：中学校の部活の関係で運動部についてはご説明いただきましたが、文化部については。

教育長：文化部も一緒です。練習時間についても。

吉田委員：例えば発表だったり大会、吹奏楽の演奏会は何か中止になったりとかしますか。地区中体のようなものは。

教育長：全部中止です。地区中文連などはまだです。地区中文連の発表会は9月頃、たぶん厳しいと思います。地区中文連の大会も県の中文祭も未定です。

町長：修学旅行のことですが、私の意見としてはやっていただきたいです。行先を沿岸被災地にするなど。このような機会ですので、ディズニーランドでなくても良いと思います。県内も見るところもたくさんあります。

千葉委員：文化財について、旧剣道場の資料館収蔵品倉庫についてですが、先月の教育委員会議で行政財産へ移し替えすることになりましたが、町長部局では剣道場の跡利用、鉄骨造りの耐久性のある建物だったと思いますが、今のところ検討や活用はどうでしょうか。

町長：今、検討しているのは壊して、小学校も空いているのでそちらの2階部分など活用し文化財などの資料を移すことも。また変わるかもしれないが、相当古い建物ですし、子どもの安全性を考えた時にすぐには

できないが、更地にしなければならないという気はしていました。
何か良い案があればそちらに移したいのですが。

(3) 雫石高等学校の魅力化推進について

町長：雫石高校に入学者について、お金で増える訳ではないですが、皆さんはどうお思いでしょうか。

教育長：制服の補助と町外からの通学費の補助。

課長補佐：一人当たり上限額が15万円でその内の30%、4万5千円が入学費の制服などの補助です。

町長：例えばそういうものにあと一人10万円ぐらいの予算を立てて、中学校の生徒に雫石高校に入ればこうだと伝えて魅力が出るのかどうか。早く手立てをしなければならない。何か考えたい。皆さんのご意見をいただきたいです。

他の高校を見るとお金を使っている。積極的にやっているのも何もやらずにまた再編にかかり、あの時やっていたら良かったとはなりたくない。そういうものにお金をかけたいなという思いがあります。

教育長：私も絶対、一つの市町村に公立普通高校があるべきだという思いがある。

町長：まずは検討してみますか。

副町長：後悔するよりやった方がいいです。ましてコロナウイルスの状況の中経済状況がどうなのかというのが多分たくさんあると思います。

千葉委員：私も、やれるのであればぜひやってほしい。10万円の基礎となる部分、しっかりと理論構成をしていただいて。

町長：先ほど30%の負担だということだが、負担割合を上げる。ただ10万円をあげると今の給付金のようなになるので、何か使うものに対して負担割合をいくりにするかなど。

副町長：当時調べた中で、制服や教科書などで10万円以上となる。また、当時、仙北中学校のOBの雫石高校のOBの方に話をしたところ交通費について補助がないかということで交通費の補助も行いました。

千葉委員：そういう危機感を持ってできれば制服を新調するぐらいの気持ちでイメージを変えるなど。雫石高校の地域性と、ボート部が以前国体やインターハイに行ったことがある。その辺りに力を入れて、ボートなら雫石高校だというくらいまで指導者をお願いするなどできないものか。

吉田委員：その当時は、県の国体少年の監督の先生がいました。

町長：(対応策について) 早めの検討をと言うことでよろしいですか。
(事務局で) 中身を考えてください。

教育長：県内など調べて地元高校の優遇を。

8 その他

千葉委員：雫石も他の町村と違わないが高校を卒業すると首都圏に出ていくという実態があり、人口減少も進んでいる。やはりふるさとが良かったなというのは出て感じるものだと思います。雫石でしっかりと子ども達を根付かせるために、町の副読本は非常に良い内容だと拝見したし、雫石にある自然や郷土芸能、人柄も含めて子ども達が小さい時に現場で体験できる田植えなど、そういうところに行行政の配慮をいただいて自分は雫石に生まれて良かったな、雫石に帰りたいなという想いを将来的に思わせるような教育施策を今、町長は教育にとっても力をいただいてありがたく感謝しています。そのようなところもぜひ行政の方でお願いできれば良いと一町民として思いますのでよろしくお願いいたします。

町長：勉強も大事だが、そういうことが東京に行き少し苦勞すると、やはり田舎の方がと思うのだろう。

教育長：今と同じ想いで小中学生にふるさとの良さの原体験をさせれば、30年後に一人でも良いので行政区の区長をやろうかと言う人がいれば、そういう子ども達を育てたいというのが私の思いです。

【事務局からのお知らせ】

政策推進課長：今年度から政策推進課でも雫石高校の魅力化を応援しようということで、虹の似合う雫石町から取り、「虹色コンパスキャリア教育支援」を進めています。

今お話しがあった保護者や雫石中学校の生徒にも雫石高校での取組みを伝え、中学生が入りたいと思うような取組みを進めていきたいと思っています。

9 閉 会